

第72期

KISSEI REPORT

中間報告書 2016.4.1-2016.9.30

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL http://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

【お知らせ】

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

明日の健康を見つめる
KISSEI **キッセイ薬品工業株式会社**



大キレットを流れる雲と朝の槍ヶ岳

KISSEI **キッセイ薬品工業株式会社**

経営ビジョン

世界の人びとの健康に
貢献できる
独創的な医薬品を
開発し提供する
創薬研究開発型企業を
目指す



代表取締役会長

神津陸雄

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第72期第2四半期（2016年4月1日から2016年9月30日まで）の事業の概況をご報告させていただきます。

当期は、計画期間を3年とする中期経営計画「PROGRESS 3」の最終年度となります。掲げた基本戦略テーマの中でも、「製品ポートフォリオの充実・強化」に加えて、経営環境の変化を鑑み、コスト構造の改善に重点的に取り組むことにより、将来の持続的成長を企図する「PROGRESS 3」の達成に向けて、全社一丸となって邁進してまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で、特例市場拡大再算定や後発品への置き換えが進まない長期収載医薬品への特例引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に改善傾向が見られるものの、個人消費の低迷を主要因に景気の先行き不透明感が広がるなど、依然として厳しい競争環境下にありました。

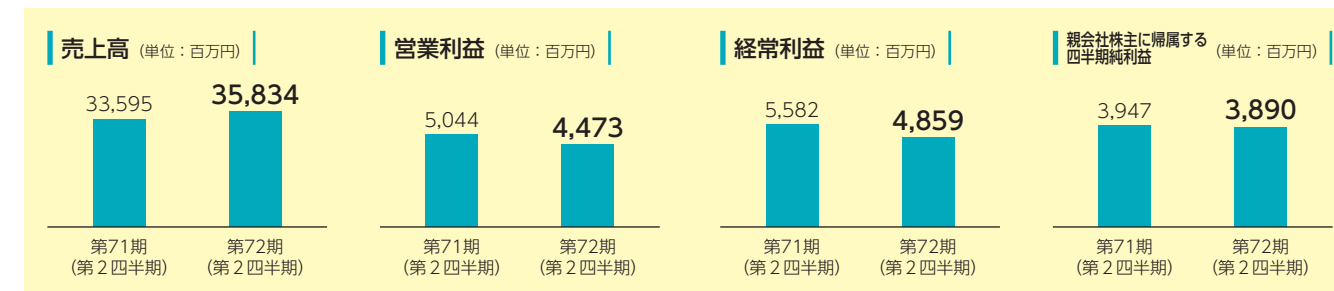
医薬品事業の売上高は、305億7百万円（前年同期比1.6%増）となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、昨年11月に新発売いたしました高リン血症治療薬「ピートル®チュアブル錠」の売上加え、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ®錠」及び「ユリーフ®OD錠」、糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」及び「グルファスト®錠」などの売上が増加し増収となりました。なお、糖尿病治療薬「グルファスト®OD錠」を本年6月に新発売いたしました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日

本製品名ユリーフ）の北米・中南米における技術導出先でありますアラガン社（アメリカ）及び欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結累計期間におきましても引き続きそれぞれの許諾地域内において製品育成を進めております。

その他の事業の売上高は、53億2千7百万円（前年同期比49.0%増）となりました。情報サービス業、物品販売業、建設請負業のそれぞれにおきまして増収となりました。

利益面では、増収となりましたものの、売上原価率の上昇に加え、販売費を主に販売費及び一般管理費が増加いたしましたことにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

研究開発の状況につきましては、本年7月にグルベスの剤形追加（口腔内崩壊錠）の承認申請を行いました。また、持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ（一般名）のバイオ後続品「JR-131（開発番号）」の第Ⅲ相臨床試験を開始いたしましたほか、引き続き各テーマの研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。なお、脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373（開発番号、一般名：ロパチレリン）は、当連結累計期間におきまして追加の第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。



連結業績予想

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、その他の事業におきましても、景気回復への足取りが鈍く依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。このような情勢の中で当グループは、グループ各社のシナジー創出によりグループ経営基盤を強化するとともに、これまでの研究開発などへの投資を成果へと結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。現時点での2017年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

連結業績見通し

(単位：百万円)

	2016年3月期実績	2017年3月期見通し	対前期増減額	増減率 (%)
① 売上高	71,294	71,700	406	0.6
② 営業利益	10,274	9,200	△1,074	△10.5
② 経常利益	11,353	10,000	△1,353	△11.9
② 親会社株主に帰属する当期純利益	8,165	7,700	△465	△5.7

① 売上高について

当初見通しより7億円増額の717億円（前年度比0.6%増収）に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして7億円の増額、その他の事業におきまして据え置きといたしました。医薬品事業では、主として国内医薬品売上及び輸出売上について売上を見直したことによりです。

② 利益について

第2四半期連結累計期間におきましては、医薬品事業及びその他の事業における売上高が当初計画を上回りましたことに加え、売上原価率が上昇したものの、販売費及び一般管理費が当初計画を下回りましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が当初見通しを上回りました。

通期の売上高を増額修正いたしますとともに、売上原価率について見直しましたことなどから、通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより6億円増額の92億円（前年度比10.5%減益）、経常利益は当初見通しより4億円増額の100億円（前年度比11.9%減益）、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより7億円増額の77億円（前年度比5.7%減益）の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、特別なものは見込んでおりません。

研究開発の状況

経営ビジョンである「世界の人の健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発におけるコア領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、グローバル市場への進出と拡大を目指し、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

(2016年11月現在)

● 自 社

開発段階	製品名／ 一般名／開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	グルベス®	自社開発	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用+α-グルコシダーゼ阻害作用	ミチグリニド・ボグリボース配合剤剤形追加(OD錠)
	ブデソニド／ AJG511	導入品／EAファーマ共同開発	潰瘍性大腸炎	局所作用型ステロイド	注腸フォーム製剤
第Ⅲ相	ロパチレリン／ KPS-0373	導入品／塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)作用	
	カロテグラストメチル／ AJM300	導入品／EAファーマ共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	
	オザグレリル／ KCT-0809	創製品／テイカ製薬共同開発	シェーグレン症候群に伴うドライアイ	角結膜上皮障害修復作用	
	ビベグロン／ KRP-114V	導入品／杏林製薬共同開発	過活動膀胱	β3アドレナリン受容体刺激作用	
	JR-131	導入品／JCRファーマ共同開発	腎性貧血	赤血球増加作用	グルベボエチンアルファバイオ後続品
第Ⅱ相	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
第Ⅰ／Ⅱ相 準備中	YS110	導入品／ワイズ・イー・シー、 東京大学、日本医療研究開発 機構 (AMED)	悪性中皮腫	抗CD26ヒトモノクローナル抗体	
第Ⅰ相	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	

(2016年11月現在)

● 導 出

開発段階	一般名	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitigliinide)	イーザイ (日本)	アセアン*1	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン*2、インド*2、 スリランカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体拮抗作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2アドレナリン受容体刺激作用
	KLH-2109	オブシーバ (スイス)	日本、一部のアジアを除く全世界	子宮内膜症、子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
第Ⅰ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2アドレナリン受容体刺激作用

*1：発売：タイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、申請中：2カ国

*2：発売：タイ、インド、インドネシア、フィリピン、カンボジア、承認：ミャンマー、申請中：アセアン3カ国

連結財務諸表

●四半期連結貸借対照表

				(単位：百万円)			
期別	前第2四半期	当第2四半期	前期	期別	前第2四半期	当第2四半期	前期
科目	(2015年9月30日現在)	(2016年9月30日現在)	(2016年3月31日現在)	科目	(2015年9月30日現在)	(2016年9月30日現在)	(2016年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	96,027	97,642	100,051	流動負債	16,064	16,702	19,608
固定資産	82,431	89,301	93,294	固定負債	10,708	13,719	15,612
有形固定資産	26,963	26,453	26,758	負債合計	26,773	30,422	35,220
無形固定資産	726	980	813	(純資産の部)			
投資その他の資産	54,740	61,866	65,722	株主資本	130,503	136,458	133,644
資産合計	178,458	186,943	193,345	その他の包括利益累計額	20,890	19,777	24,214
				非支配株主持分	291	285	265
				純資産合計	151,685	156,521	158,125
				負債純資産合計	178,458	186,943	193,345

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

・資産の状況 (2016年3月末との比較)

流動資産は現金及び預金などが増加しましたが、有価証券、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、24億9百万円減少し976億4千2百万円となりました。
固定資産は投資有価証券が減少したことなどにより、39億9千3百万円減少し893億1百万円となりました。

Point

・負債及び純資産の状況 (2016年3月末との比較)

流動負債は支払手形及び買掛金、「その他」に含まれる未払金が減少したことなどにより、29億5百万円減少し167億2百万円となりました。
固定負債は繰延税金負債、退職給付に係る負債が減少したことなどにより、18億9千3百万円減少し137億1千9百万円となりました。
純資産は利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金が減少したことにより1,565億2千1百万円となりました。

●四半期連結損益計算書

				(単位：百万円)			
期別	前第2四半期	当第2四半期	前期	期別	前第2四半期	当第2四半期	前期
科目	(2015年4月1日から2015年9月30日まで)	(2016年4月1日から2016年9月30日まで)	(2015年4月1日から2016年3月31日まで)	科目	(2015年4月1日から2015年9月30日まで)	(2016年4月1日から2016年9月30日まで)	(2015年4月1日から2016年3月31日まで)
売上高	33,595	35,834	71,294	売上原価	10,767	12,589	23,579
売上総利益	22,828	23,245	47,714	販売費及び一般管理費	17,784	18,771	37,439
営業利益	5,044	4,473	10,274	営業外収益	628	545	1,194
営業外費用	89	159	115	営業外費用	89	159	115
経常利益	5,582	4,859	11,353	特別利益	1	359	1
特別損失	119	71	217	特別損失	119	71	217
税金等調整前四半期(当期)純利益	5,464	5,147	11,136	税金等調整前四半期(当期)純利益	5,464	5,147	11,136
法人税、住民税及び事業税	1,267	1,397	2,969	法人税、住民税及び事業税	1,267	1,397	2,969
法人税等調整額	237	△156	△28	法人税等調整額	237	△156	△28
四半期(当期)純利益	3,959	3,907	8,195	四半期(当期)純利益	3,959	3,907	8,195
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	12	17	30	非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	12	17	30
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	3,947	3,890	8,165	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	3,947	3,890	8,165

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

				(単位：百万円)			
期別	前第2四半期	当第2四半期	前期	期別	前第2四半期	当第2四半期	前期
科目	(2015年4月1日から2015年9月30日まで)	(2016年4月1日から2016年9月30日まで)	(2015年4月1日から2016年3月31日まで)	科目	(2015年4月1日から2015年9月30日まで)	(2016年4月1日から2016年9月30日まで)	(2015年4月1日から2016年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	320	3,580	5,763	営業活動によるキャッシュ・フロー	320	3,580	5,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,369	△3,412	△5,685	投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,369	△3,412	△5,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,069	△978	△2,146	財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,069	△978	△2,146
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△4	20	現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△4	20
現金及び現金同等物の増減額	△3,120	△814	△2,047	現金及び現金同等物の増減額	△3,120	△814	△2,047
現金及び現金同等物の期首残高	52,142	50,094	52,142	現金及び現金同等物の期首残高	52,142	50,094	52,142
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	49,021	49,280	50,094	現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	49,021	49,280	50,094

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point

・キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)
売上債権の減少及びたな卸資産の減少などが資金増加要因となり、前年同四半期に比べ32億6千万円増の35億8千万円となりました。
(投資活動によるキャッシュ・フロー)
投資有価証券の取得による支出の増加などにより、前年同四半期に比べ10億4千3百万円支出増の34億1千2百万円の支出となりました。
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
長期借入金の借入による収入が増加したことにより、前年同四半期に比べ9千1百万円支出減の9億7千8百万円の支出となりました。

主な医療用医薬品

ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬

ユリーフ	排尿障害改善薬
ウテメリン	切迫流・早産治療薬
フラグミン静注	血液凝固阻止剤
ゾラデックス1.8mgデポ	子宮内膜症治療薬
フルスタン錠	活性型ビタミンD ₃ 製剤

その他代謝用薬

グルファスト	糖尿病治療薬
グルバス配合錠	糖尿病治療薬
エポエチンアルファBS注JCR	腎性貧血治療薬
ピートルチュアブル錠	高リン血症治療薬

循環器官用薬

ベザトールSR錠	高脂血症治療薬
キサンボン注	脳循環改善薬

消化器官用薬

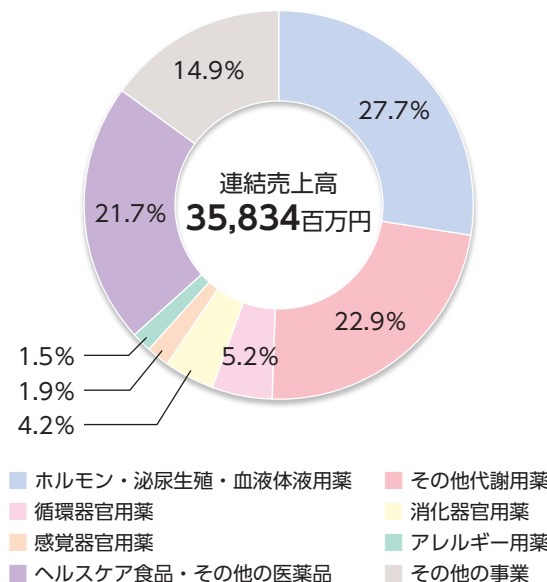
サラジェン錠	口腔乾燥症状改善薬
ガスコン	消化管内ガス駆除薬

感覚器官用薬

リザベン点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬
リズモンTG点眼液	緑内障・高眼圧症治療薬

アレルギー用薬

リザベン	アレルギー性疾患治療薬
ドメナン錠	気管支喘息治療薬



主なヘルスケア食品

介護・高齢者向け食品

新スルーキング i・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーパートナー・・・液状食品やミキサー食を見た目においしそうで食べやすいゼリー食にできる介護食調整用食品です。いろいろな食品を風味や色を変えずに固めることができ、冷たいままでも温めてもおいしく召しあがれます。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。調理済みのため加熱の必要はなく、開けてそのまま召しあがれます。いとより鯛、かに風味、ほたて風味、いわし、うなぎ、ポークしょうが焼があり、たんぱく質7gのぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。また栄養強化タイプとして、カレー風味、ビーフシチュー風味、エビチリ風味の3種があります。

エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できるゼリーです。味の種類は、オレンジ、ウメ、カリン、マスカット、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召しあがれるビスキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

たんぱく質調整食品

ゆめごはん・・・たんぱく質、リン、カリウムを抑えたおいしいパック入りごはんです。温めるだけで手軽に召しあがれます。

「グルファスト®OD錠5mg、同10mg」を新発売



当社は、速効型インスリン分泌促進薬「グルファスト®OD錠5mg、同10mg」（一般名：ミチグリニドカルシウム水和物）を、本年6月17日に新発売いたしました。

「グルファスト®OD錠5mg、同10mg」は、当社が創製・開発し、2004年5月より販売している「グルファスト®錠5mg、同10mg」の新しい剤形となる、速効型インスリン分泌促進薬としては初の口腔内崩壊錠です。口腔内で速やかに崩壊し、水ありでも、水なしでも服用できることから、本剤の特長である「1日3回食直前」の服薬利便性向上に加え、錠剤が服用困難な患者さん等に適しています。

「グルファスト®」は、速効型インスリン分泌促進薬に分類される2型糖尿病治療薬です。インスリン分泌を自然なパターンに近づけて食後高血糖を改善するとともに、平均血糖値を反映する指標であるHbA1cを改善する特長があります。

当社は、「グルファスト®」の剤形追加により、患者さんの利便性が向上し、医療に一層貢献できることを期待しております。

「えねぱくゼリー」を新発売

当社は、高齢化が進展する中で、高齢者・要介護者の方々の健やかな生活に貢献すべく、特長ある食品の開発・販売を行っております。

本年8月にエネルギー・たんぱく質補給デザート「えねぱくゼリー」を新発売しました。食欲が落ちたり、飲み込む力が低下したりすることで食事の量が減り、十分な栄養を摂ることができない高齢者・要介護者向けに当社が開発した、エネルギーとたんぱく質をおいしく手軽に補給できるゼリーです。1個（84g）当たりにエネルギー125kcal、たんぱく質5gを含み、製法を工夫することで、やわらかく、口の中でほどよくまとまり、安全に飲み込めるゼリーに仕上げました。白ぶどう、トロピカルフルーツ、りんごの果汁を使用した3種の味で、さわやかな香りと共においしく召しあがれます。

病院、施設での使用とともに、在宅でのエネルギー・たんぱく質補給に取り入れていただけるよう、普及に努めてまいります。



お問い合わせ先

ヘルスケア事業部 お客様相談センター
フリーダイヤル：0120-113-513（土・日・祝日を除く9：00～17：00）

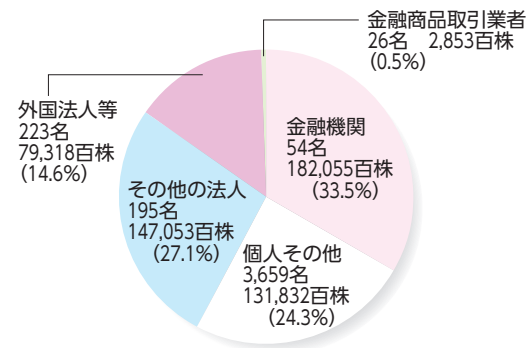
株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 54,311,185株
 株主数 4,157名 (前期末比増減64名増)
 大株主

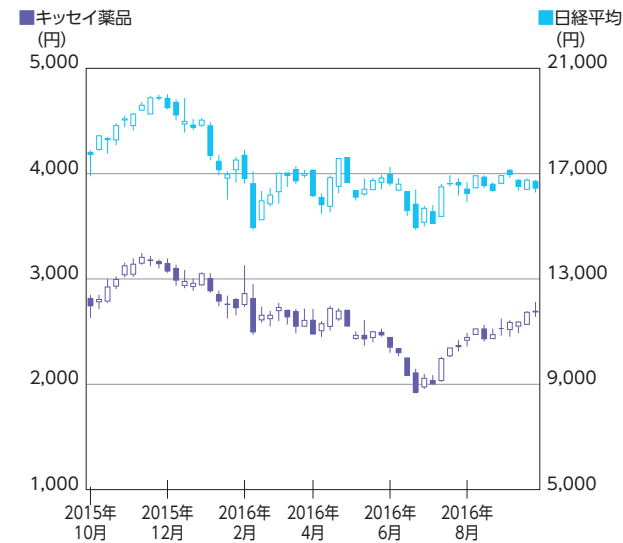
株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	32,000百株	6.5%
有限会社カンザワ	31,782	6.5
株式会社八十二銀行	24,435	5.0
株式会社みずほ銀行	24,434	5.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,145	4.9
神澤 陸 雄	15,359	3.1
キッセイグループ従業員持株会	12,957	2.7
鋼林株式会社	12,223	2.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,740	2.4
株式会社長野銀行	11,260	2.3

(注) 1. 当社は自己株式53,839百株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

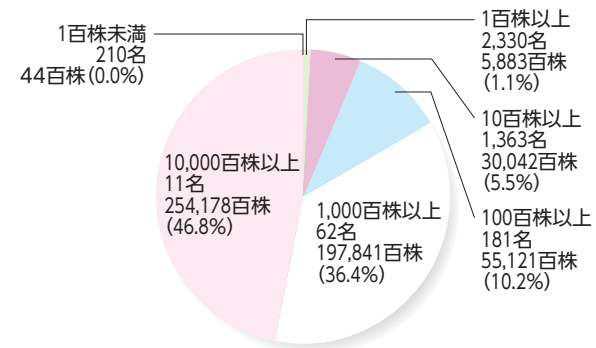
所有者別分布



株価チャート



所有株数別分布



会社の概要 (2016年9月30日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文社名 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
 設立 1946年(昭和21年)8月9日
 資本金 24,356,653,478円
 主要な事業内容 医療用医薬品の研究・開発・製造・販売
 従業員数 1,543名

事業所 本 社
 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710
 東京本社
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022
 東京本社 (小石川)
 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支 店
 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、
 東京支店、横浜支店、松本支店、
 名古屋支店、京都支店、大阪支店、
 高松支店、広島支店、福岡支店
 (注)支店の下に46営業所を設置しております。

工 場
 松本工場、塩尻工場
 研 究 所
 中央研究所・第二研究所・製剤研究所
 (長野県安曇野市)
 上越化学研究所(新潟県上越市)
 ヘルスケア事業センター(長野県塩尻市)

役 員

代表取締役会長	神澤 陸雄	取締役	草間 寛
代表取締役社長	両角 正樹	取締役	松下 英一
取締役副社長	佐藤 公衛	取締役	菊池 伸次
常務取締役	伊佐治 正幸	社外取締役	清水 重孝
常務取締役	福島 敬二	社外取締役	野村 稔
常務取締役	降旗 喜男	常勤監査役	米窪 真人
常務取締役	竹花 泰雄	監査役	金井 英敏
取締役	宗 健司	社外監査役	上野 紘志
取締役	高山 哲	社外監査役	中川 寛道

Information



ホームページのご案内
 当社のホームページでは、タイムリーな情報を提供しています。是非アクセスしてください。

アドレスはこちら↓
<http://www.kissei.co.jp/>

Annual Report 2016

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



CSR報告書 2016

環境やCSRの取り組みを「CSR報告書」としてまとめています。

資料請求のご連絡先: 広報部 TEL: 0263-25-9523
 (土・日・祝日、当社休日を除く月~金 8:40~17:20)